

テーマ	全経対策 (Ⅶ)：自己受為替手形・自己宛為替手形・荷為替手形		
学籍番号	/ / / / / / / /	氏名	/ / / / / / / /

1. 5 伝票制にもとづいて起票された次の取引を 3 伝票制で起票すればどうなるか。(1)取引を現金仕入と掛仕入とに分解して処理する方法、(2)いったん全額を掛けによる仕入取引として処理する方法のそれぞれに関して答案用紙における各伝票の空欄を埋めなさい。(3 級対策)

出金伝票 ×1 年 7 月 1 日	
科目	金額
買掛金	100,000

仕入伝票 ×1 年 7 月 1 日	
科目	金額
買掛金	400,000

(1)

出金伝票 ×1 年 7 月 1 日	
科目	金額
仕入	100,000

振替伝票 ×1 年 7 月 1 日			
科目	金額	科目	金額
仕入	300,000	買掛金	300,000

(2)

出金伝票 ×1 年 7 月 1 日	
科目	金額
買掛金	100,000

振替伝票 ×1 年 7 月 1 日			
科目	金額	科目	金額
仕入	400,000	買掛金	400,000

2. 次の取引について売主側と買主側の両者の仕訳を示しなさい。(2 級対策)

(1) 楽音寺商事は得意先八尾商事へ商品 ¥1,500,000 を船便で発送し、そのさい、取引銀行で額面 ¥800,000 の荷為替を取り組み、割引料 ¥20,000 を差し引かれ、手取金は当座預金とした。ただし、八尾商事は船荷証券を受け取ったのみで商品はいまだ到達していない。

	借方	貸方
楽音寺商事	売掛金 700,000 当座預金 780,000 手形売却損 20,000	売上 1,500,000
八尾商事	未着品 1,500,000	支払手形 800,000 買掛金 700,000